

Spire_M

小学校版

P.2 これでバッチリ!「教科書の新しい見方・考え方」

筑波大学附属小学校教諭 高倉 弘光

P.6 教師用指導書を味方につける!

筑波大学附属小学校教諭 平野 次郎

いよいよ
新しい教科書が
始まります!

音楽のもと
&
メモ欄

毎時扱いで
技能の定着
めざせ
楽器名人

スキル
アップ



学習の見通し
まなび
ナビ

体を
動かす
活動



P.10 教師用指導書について

P.12 KOBAYA通信 第3回

教育出版



これで
バッチリ!

教科書の新しい 見方・考え方

筑波大学附属小学校教諭 高倉 弘光

人生107年時代を生き抜くための「資質・能力」

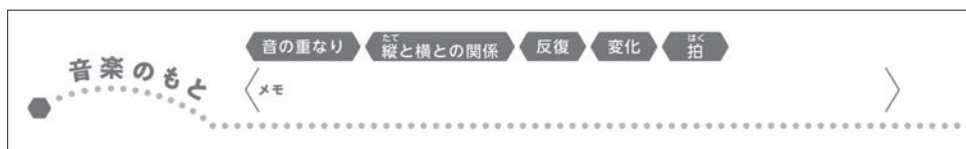
2019年、厚生労働省は、今の中学校1年生の半数は、なんと107歳まで生きるだろうという予測を公表しました。驚くばかりです。人生100年時代というのはよく耳にしていましたが、107年まで伸びるということです。また、時代つながりでいうと、今は「AI時代」とも呼ばれています。世界に起こるおそらく最後の産業革命だろうといわれています。第一の産業革命が起きた19世紀、日本は見事にその波に乗ることに成功し先進国の仲間入りを果たしました。しかし、今回のAI産業革命では、黄色信号が灯っているといえます。AIの開発競争では2004年時の世界第4位から、昨年の第9位と、順位を下げています。ますます創造性の育成にも力を入れなくてはならないともいえます。

こう考えると、今年度から全面实施される学習指導要領で言われている「資質・能力」とは、単なる目先の「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」などという捉えではなく、これからの人生107年時代を、一人一人が自らの力で「自らの幸せを見つけていくための資質・能力」という捉えをしなくてはならないのだと思います。

こういった目で、新しい音楽の授業を創造したいと思います。令和2年度版の新しい教科書は、新しい時代に合った授業づくりをお手伝いしています。

児童の「音楽的な見方・考え方」を育てる 「音楽のもと」と「メモ欄（3年生以上）」

3年生以上の教科書の右上に、そのページ（題材）で扱いたい「音楽を形づくっている要素」が記されています。例えば、6年教科書p.26～27にある教材曲「カノン」。右上の「音楽のもと」には、「音の重なり」「縦と横との関係」「反復」「変化」「拍」と記載されています。それらの要素を扱うことが考えられる、という押さえです。その下に、児童が自由に記述できるように「メモ欄」があります。



教科書 6年 p.27

このメモ欄には、実際に授業で考えたこと、大切だと思ったこと、みんなで学習してわかったことなどを自由に書くとよいでしょう。

児童が主体的に学ぼうとする意欲を育てるとともに、音楽に対する「見方・考え方」を育てるのに一役買おうとしているのが、この「メモ欄」です。

教材曲「カノン」でしたら、どんな事柄が、この「メモ欄」に記されるのでしょうか。例えば授業の内容を確認するために「和音のひびき」と書かれる場合もあるでしょうし、カノンの仕組みになっている曲を集めて曲名を記してもよいかもしれません。授業の内容に合わせて効果的にこの欄をお使いいただければよいと思います。



常時活動に役立つ「スキルアップ」や「めざせ楽器名人」コーナーで、確かな技能を定着



今回の学習指導要領改訂では、音楽科の授業時数の増減がありませんでしたが、例えば高学年においては年間50時間と、決して潤沢な時数が確保できていたとは言えない状況が続いています。

限られた授業時数の中で確かな技能の定着を図ることも、音楽科が抱えている課題の一つといえるでしょう。

そこでご紹介したいのが、教科書にある「スキルアップ」（2年生以上）や「めざせ楽器名人」のコーナーです。常時活動などのちょっとした時間に継続的に取り扱い、音楽の技能の定着を目指しましょう。

例えば、「スキルアップ」では、手拍子や言葉遊びなど、体のあらゆる感覚を使いながら、リズム感を身に付けられるよう、各学年での活動がバリエーション豊かに紹介されています。また楽しみながら歌声をつくり、和音の響きを味わえるような、カノンの仕組みを生かした楽曲も掲載されています。

「めざせ楽器名人」では、教師用指導書の表現CDなども活用しながら、自分が楽器で演奏してみたい音色について思いをもち、文字通り名人を目指す学習が進められるようになっています。

さらに、例えば「スキルアップ」の活動を音楽づくりの学習へと発展させることも考えられます。

ここで、4年生の「スキルアップ」を発展させる例をご紹介します。

4年生の「スキルアップ」では、「早口」という歌唱教材が見開きの左ページに載っています。カノンの仕組みになっていて、オノマトペ、あるいはナンセンスな言葉を早口で歌うとても楽しい曲です。そして右ページには、早口言葉でラップを楽しむ活動が紹介されています。児童は、「生麦・生米・生玉子」などの早口言葉をリズムよく唱えることを楽しみます。

はじめのうちは教科書に載っている早口言葉のラップ（楽譜）を演奏するのですが、そのうちに、さまざまな早口言葉を使って、遊ぶ様子が見受けられるようになります。これは、学習指導要領でいうところの「即興的な表現」と位置づけられる姿です。このときこそチャンス。2～4人のグループで、自分たちの好きな早口言葉を二つまで選び、それらの言葉を自由に切ったりつなげたり、重ねたりして、音楽をつくります。学習指導要領でいう「音を音楽へと構成する」学習になります。音楽をつくるとき、児童が使う音楽の仕組みは、「スキルアップ」のページに散りばめられています。

2年生の「スキルアップ」でも拍手回しや楽器の音回しの活動が紹介されています。これも「音楽あそび（即興的な表現）」といえます。音楽づくりの学習に発展させやすい活動です。ぜひ、お試しください。



教科書4年 p.6



早口言葉を使った音楽づくりの様子

「まなびナビ」で、より問題解決的に、より協働的な学びに！ 「学び方」を鮮明にしました！

令和2年度版の教科書から、「まなびナビ」のコーナーが新設されました。ただ単に曲を演奏するだけでなく、その曲で何を、どのように学んだらよいかを児童自身が理解できるように内容を構成しています。

新しい学習指導要領でも重視されている「思考力・判断力・表現力等」の育成。「まなびナビ」のコーナーを上手に使うことで、音楽の学びをより楽しく、意味のあるものにしていきたいものです。

「まなびナビ」の使い方の例を5年生の教科書で見えていきましょう。p.22～23に歌唱教材「ハロー・シャイニングブルー」が載っています。楽譜の下には「学び合う音楽」のコーナーがあります。どのように学んでいったらよいのか、順序立てて示しています。

教科書 5年 p.22

2 声のひびき合い
表現をくふうして
きき合いながら歌い合わせよう

ハロー・シャイニングブルー
約水原美子 作詞 西澤純治 作曲
♩=100でかい

1 そらがくちぶえ ふきー どおくこ だます たーらー すーました
2 くもがまねき しーてー りがふりを

たー うたーで しいこえ
か コ がやい おどる

そーいさやー だれかに うなずい

あたらしい せかい へのー もーのがたーりー ハーロー
うなばら を こえて ゆくー どーこまでも

シャイニングブルーー {そらがよん でいるー} よーんてい
る {うみがよん でいるー}

る い つ も な かーまきー
る い つ も な かーまきー

学び合う音楽

① どんな曲かな？
● 曲の冒頭や最後を聴いてみよう。
● 曲の冒頭にどんな楽器が、どんな音が聴こえるか、どんな感じがするかな？
● 曲の冒頭にどんな楽器が、どんな音が聴こえるか、どんな感じがするかな？
● 曲の冒頭にどんな楽器が、どんな音が聴こえるか、どんな感じがするかな？

② 曲の特徴を捉える
● 曲の冒頭にどんな楽器が、どんな音が聴こえるか、どんな感じがするかな？
● 曲の冒頭にどんな楽器が、どんな音が聴こえるか、どんな感じがするかな？
● 曲の冒頭にどんな楽器が、どんな音が聴こえるか、どんな感じがするかな？

③ パートに分かれて練習しよう。
● 自分たちのパートを練習しよう。
● 自分たちのパートを練習しよう。
● 自分たちのパートを練習しよう。

④ みんなで歌おう。
● 自分たちのパートを練習しよう。
● 自分たちのパートを練習しよう。
● 自分たちのパートを練習しよう。

① まずは、どんな曲なのかを捉える方法について

② 曲の特徴を捉えるための楽譜の読み解き方について

③ パート練習や表現の工夫についてのアドバイス

④ 合唱でどのように自分たちの思いや意図を生かしていくか

「まなびナビ」を活用して、さらに音楽的な「見方・考え方」を広めたり深めたりしましょう。また「まなびナビ」を通して学び方を獲得していくことで、新しい題材や教材に出会ったときに、今度はしだいに自分たちで学びを進められるようになっていきます。その姿は、問題解決的であり、協働的な学びそのものです。

仲間と課題を共有し、思考や判断を経てさまざまな表現を試し、最終的には自分の、あるいは自分たちの思いや意図を音楽で表現していくようになります。

「体を動かす活動」は、さらに授業の幅を広げ、 資質・能力の育成を助けます！

学習指導要領の「内容の取扱いと指導上の配慮事項」2の(1)のイに、「音楽との一体感を味わい、想像力を働かせて音楽と関わるができるよう、指導のねらいに即して体を動かす活動を取り入れること。」という記述があります。

令和2年度版の教科書には、1年生から6年生までの学年においても、この「体を動かす活動」を適切に取り入れた学習活動を提案しています。

例えば、1年生では、p.4～5に「おんがくに あわせて あるこう」という題材があります。教師用指導書の鑑賞CDをかけ、その音楽に合わせて歩く活動をします。ただ行進のように歩くだけではなく、音楽が途中で急に止まったり、速さが変わったり、あるいは曲調が変わったりします。体を動かすことで、よりよく拍を意識したり、拍に合わせてたりすることができますし、音楽を聴いて感じたことを即時的に体で表出・表現することができます。また体を動かすことは、心の開放につながり、より楽しく学習を進めることができます。

2年生を見てみましょう。p.34～35に鑑賞教材「ゆかいな時計」が載っています。そこには、「ウッドブロックの音に合わせて手をうごかしながらきいてみよう」とか「時計のベルの音がきこえたら手をふってみよう」などの記述があります。じっと椅子に座って音楽を聴くよりも、例えばこの曲の場合、ウッドブロックの音に合わせて手を動かすと、面白いリズム（シンコペーション）に気が付き、その面白さを感じることができます。体を動かすことが学びにつながるのですね。

5年生のp.10～11には、歌唱共通教材「こいのぼり」が載っています。右側のページに、友達と手を取り合い、スキップのリズムをよりよく感じるための活動が紹介されています。これも「体を動かす活動」ですね。体を動かすことで、スキップの弾むようなエネルギーをよりよく感じることができ、そのことが歌唱表現に生きてくるのです。このページでは、スキップのリズム「タッカ」と、8分音符の「タタ」との感じの違いを、体を動かすことで学ぶことができるようになっています。

このほかにも、音楽づくりでも体の動きが生かされる学習が、教科書に紹介されているなど、授業のさまざまな場面で「体を動かす活動」が学びを支えます。



教科書2年 p.34

教師用指導書を**味方**につける!

筑波大学附属小学校教諭 平野 次郎

最初に先生がたにお尋ねしたいのですが、授業をつくる際、『教師用指導書』（以下、指導書）をどのくらい頼りにしているのでしょうか。ある程度、経験年数を重ねている先生は手にする機会は少ないでしょうし、採用されて間もない先生はよく手にするのではないのでしょうか。私も採用されて間もない頃は、指導書、そして学習指導要領を頼りに授業づくりに臨んでいたように思います。

さて、指導書には大きく二つの役割があると考えています。一つは、教科書を補う役割。そしてもう一つは、先生がたを助ける役割です。音楽科の教科書作成に携わるようになり、「教科書にどこまでを示すのか」が自分なりの課題と感じています。子どもたちに気付かせたい、そして感じ取らせたいことを紙面に示しすぎてしまうと、子どもの感性を引き出したり、感性を働かせたりすることは難しくなります。ですが、紙面のすべてが楽譜、活動の羅列で終始してしまうと、一日にさまざまな教科を指導なさる担任の先生がたにとっては、「指導しにくい」ものになってしまいます。教科書だけでは足りない情報や知識などの授業づくりのポイントは、主に『指導編・研究編』で補い、また、ピアノが苦手な先生や音楽科の指導に不安を感じている先生がたは、『表現CD』や『指導用DVD』、そして『指導者用デジタル教科書（教材）』が助けてくれる存在になるでしょう。

今回は、令和2年度版の指導書の活用の仕方や私なりにおすすめしたいポイントをご紹介します。どうか、指導書が「先生がたの味方」になりますように願っております。

教師用指導書ラインアップは、本誌p.10「教師用指導書について」をご覧ください。

『研究編』の評価規準に注目!

令和2年度から完全実施される学習指導要領は、音楽科の教科の目標も三つの資質・能力ベースで整理されています。先生がたもご承知の通り、三つの資質・能力は「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」です。実は、音楽科において今回の改訂は歓迎すべきことなのです。それは、音楽科の授業では、いわゆる「技能向上」だけに力を注ぐのではなく、知識も思考力もバランスよく育てていく必要がある、という点です。子どもたちを主体にして考えると、音や音楽に対して考えることが好きな子もいるでしょう。また、「何か新しい知識を獲得したい」という子もいます。子どもと音楽との関わりを増やすためにも、三つの資質・能力をバランスよく育てていくための授業づくりが必要なのです。

さて、教科の目標が三つに整理されたことに関連して、学習評価の評価規準も3観点になります。ここ最近、先生がたから評価に関する質問が多いので、3観点到整理されたことに対する関心の高さがうかがえます。今回の『研究編』では、基本的に「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点で評価規準を設定しています（鑑賞は「知識」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」）。指導と評価の一体化がうたわれている今、先生がたには、この三つの評価規準に目を向けて欲しいと思います。あくまでも目標を立て、そして子どもたちの実態を考えながら授業構成をし、そして評価規準を設定していくのが一般的ですが、三つの資質・能力ベースの改訂で、「どのような学ばせ方が求められているか」を把握するためには、各題材、各活動の評価規準に目を向けることをおすすめします。

5年 題材「和音や低音のはたらき」評価規準例

(教材：「茶色の小びん」／和音のはたらきを感じ取ろう／「こきょうの人々」)

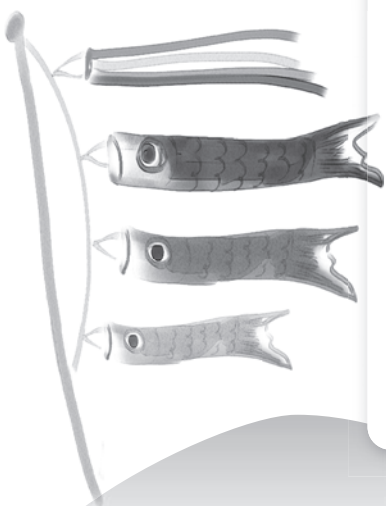
知識・技能	曲想と音の重なりや和音の響きなど音楽の構造との関わりについて理解している。
	思いや意図に合った表現をするために必要な、ハ長調の楽譜を見て歌ったり演奏したりする技能を身に付けている。
思考・判断・表現	音の重なりや和音の響きなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。
主体的に学習に取り組む態度	和音や低音の働きに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

歌唱共通教材をさらに楽しく

歌唱共通教材（以下、共通教材）は学習指導要領において、各学年4曲ずつ設定されています。教科書の紙面には、壮大な富士山の写真やこいのぼりが空を泳いでいる様子が示されています。しかし共通教材は、時間数の都合や行事との関わりで、「数回歌っておしまい」という現状もあるようです。最終的な目標は「そのうたに親しむこと」にあると考えますが、先に示したように、三つの資質・能力をバランスよく育てていくためには、歌唱共通教材での「学ばせ方」も一工夫する必要があるのではないのでしょうか。

『研究編』の「指導計画」では、「おさえどころ」の項目をおき、その教材での「学ばせ方のヒント」を掲載しています。例えば、「こいのぼり」（5年）で、旋律の特徴であるタッカのリズムのよさや面白さに気付かせたいとき、タタのリズムで歌ったり、体を動かす活動を取り入れたりすることなどを示しています。これからの音楽科の「学ばせ方」を考えると、さまざまに試すような活動は知識の獲得や思考を促すためにも必要な手立ての一つになります。これまでの共通教材であれば、歌詞からのアプローチが多かったように感じますが、音楽を形づくっている要素を思考のよりどころにして、子どもが自ら気付いたり、考えたりしながら、その楽曲に親しんでいけるように導きたいものです。

p.8に「こいのぼり」のおさえどころを例示してあります。



★ 歌詞に表された情景を思い描けるように、写真や映像などを用意する。

★ タッカとタタのリズムの違いを理解するために、あえてリズムを変えて歌い比べたり、体を動かす活動を取り入れたりする。そこで感じ取ったことや気付いたことを、言語活動を通して全体で共有し、タッカのリズムをどのように表現したらよいのかを考えていけるようにする。

★ 曲の中で一番盛り上がる場所を見つけるときは、歌詞の内容だけでなく、強弱記号や旋律の動き、リズムについてそれぞれの段を比べたりして、自分なりの考えがもてるように導いていく。

★ 「こいのぼり」（近藤宮子 作詞）を歌ったり、聴いたりして、それぞれのこいのぼりの泳ぎ方を想像してみるのも面白いでしょう。

5年「こいのぼり」指導計画 おさえどころ（教師用指導書 研究編）

先生がた、そして子どもたちを助けるアイテム

歌唱や器楽、そして鑑賞の授業では、『表現CD』『鑑賞CD』を活用されている先生は多いのではないのでしょうか。今回はそれにプラスして、音楽づくりの活動でも先生がたを助けるアイテムを紹介します。

音楽づくりの活動には、リズムを重ねる、旋律をつくる、声で表現するなどのさまざまな活動がありますが、中でも旋律をつくる活動は、少しハードルが高いといわれています。それはある程度の知識や技能、そして演奏の技術が求められるからです。令和2年度から子どもたちが使う教科書では、その知識や技能の獲得の仕方にも系統性をもたせながら、子どもたちが無理なく旋律づくりに取り組めるような工夫がなされていますが、何もない状態から音楽をつくり上げていくことは、そう簡単なことではありません。

そこで、子どもたち、そして先生がたを助けるアイテムになるのが、『表現CD』に収録されている伴奏音源です。例えば、「和音に合わせてせんりつをつくろう」（5年p.26）、「じゅんかんコードをもとにアドリブで楽しもう」（6年p.34）では、ある和音進行に合わせて即興的に表現したり、音を音楽に構成したりしていくことをねらいにしています。その学習の過程で、伴奏音源を活用します。子どもが何もない状態から音楽をつくり上げることは難しいのですが、循環コードやⅠⅣⅤⅠの和音進行が収録されている伴奏音源を活用することで、和音の響きやその移り変わりを聴き取ったり、感じ取ったりしながら、「どのような旋律をつくろうか」など、試行錯誤ができる状態になります。「音楽を聴くと自然と体が動き出す」感じに似ているのではないのでしょうか。この伴奏音源は先生がたのことも助けてくれるアイテムになります。私の過去の実践では、自作の音源などを活用していたのですが、CDにトラック分けがなされていれば、そのトラックだけを繰り返し再生することで、自然と旋律づくりを行う環境が整います。子どもたちの創造性を発揮させるためにも、『表現CD』の中の、「伴奏トラック」は、ぜひおすすめしたいアイテムの一つです。

教師用デジタル教科書（教材）を使ってみましょう

イ どのような音楽を、どのようにしてつくるかなどについて、児童の実態に応じて具体的な例を示しながら指導するなど、見通しをもって音楽づくりの活動ができるように指導を工夫すること。

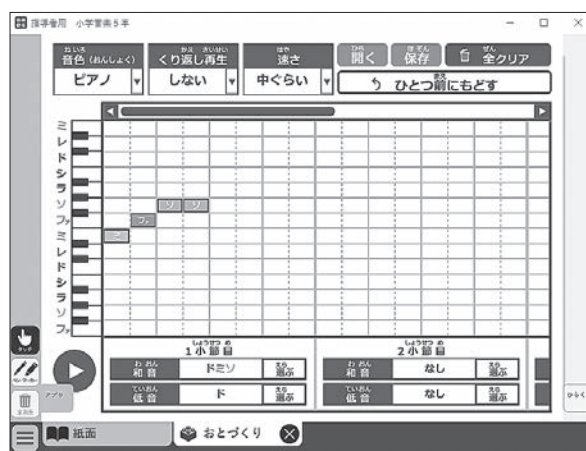
学習指導要領 小学校音楽科 第4章2内容の取扱いと指導上の配慮事項（6）から抜粋

音楽づくりの学習においては、先ほども述べたように、子どもたちが何もない状態から音楽をつくりあげていくことは難しいので、児童の実態に応じて、「どのような音楽を、どのようにしてつくるかなど」の具体例を示す必要があります。また、教科書への示し方も、あまり具体的に「つくり上げるべき音楽」を示してしまうと子どもたちが試行錯誤しにくくなるため、その示し方の線引きは悩ましいところです。

このようなときには、指導書セットに添付してある『教師用デジタル教科書（教材）』を活用するのも一つの方法です。ここでは、その中にある、「おとづくり」のツールを開いてみることにします。

この「おとづくり」ツールは、旋律、和音、低音の三つを一度に同じ画面上で操作することが可能です。何よりも、旋律を打ち込む作業が誰でも簡単に行うことができるのがポイントです。例えば、「I IV V I の和音進行で旋律をつくる活動」などで活用してみましょう。子どもたちが旋律づくりの活動を行う前に、「おとづくり」の画面を見ながら、どのような旋律をつくり上げていくのか、という見通しをもたせる場を設けます。初めは、先生が簡単な旋律を打ち込んで、それを聴いてどのように感じたのか、「もっとよい」「もっと面白い」旋律にするためにはどのようにしたらいいのかなどを、言語活動を通して意見交換したり、アイデアを共有したりします。「一人ではつくるのが難しい」と感じている子にとっては、そのような場は活動の見通しをもつことができるので、安心して旋律づくりに向かえるきっかけの場となるでしょう。先生が具体例を示すときのポイントは、「なるべく簡単な旋律」を示すことです。具体例で複雑で難しい旋律を示してしまうと、「これはできない」と子どもたちも感じてしまうので、気を付けましょう。

同じような機能は、『教師用デジタル教科書（教材）』の紙面の「インタラクティブ」にも備わっています。4年p.22音のスケッチ「音の動き方を生かしてせんりつをつくろう」では、簡単な操作で音の動き方を再生して確かめることができます。自分たちが実際に表現している姿は客観的に見ることはできないので、ツールを通してではありますが、このような機能、そして場を設けられることは、子どもたちにとっても、そして先生がたにとっても、心強い味方になることでしょう。



教師用デジタル教科書（教材）おとづくりツール

教師用指導書について

指導書は、指導編(1)と研究編(2)、伴奏編(3)、表現CD(4)、鑑賞CD(5)、指導用DVD(6)、学習指導計画(7)の7種類があり、それぞれ次のような内容で構成されています。

※指導編(1)と研究編(2)は合冊です。

※学習指導計画以外の6点(1～6)を学年ごとにまとめたセットもご用意しています。

※セット(1～6)には、指導者用デジタル教科書(教材)を添付しています。

※鑑賞教材の映像については、指導書と別に、「小学校音楽鑑賞用教材集〈DVD〉」が、日本コロムビアより販売されています。

1 指導編



主に教室でお使いいただくための内容です。授業に必要な内容が、見開きごとにまとまっています。

- ・赤刷り……………教科書縮刷りの上に赤字で留意点を明示
- ・学習活動の流れ……………研究編の展開計画を要約したもの
- ・ポイント……………題材や教材に即した指導のポイント
- ・発問例……………児童への投げかけの例示
- ・おもしろMEMO……………教材曲や指導に関するミニ情報
- ・TIPS(特別支援)……………特別支援教育の視点を生かした指導の留意点

2 研究編



主に指導案づくりや教材研究にお使いいただくための内容です。各種コラムや資料などが豊富です。

- ・巻頭……………題材構成一覧表、年間指導計画例など
- ・題材(主要部分)……………展開計画、評価規準、教材解説など
- ・主要・オプション部分……………指導計画
- ・その他……………鑑賞資料、コラム、オプション部分の教材解説
- ・巻末……………楽典、学習指導要領、評価の観点

3 伴奏編



教材曲の本伴奏、簡易伴奏、ガイドピアノのほか、移調譜や鑑賞曲の参考楽譜などがまとまっています。

4 表現 CD



表現教材指導用の CD です。曲のイメージづくりに適した範唱・範奏や、オーケストラ伴奏、ピアノ伴奏、音楽づくりの創作例などを収録しています。

※ 曲によってはオーケストラ伴奏のみ、あるいはピアノ伴奏のみの場合があります。

5 鑑賞 CD



鑑賞教材として最適な音源を厳選しました。教科書掲載の鑑賞教材を網羅しており、その他の参考鑑賞曲も豊富に収録しています。作品や演奏についての解説資料付き。

6 指導用 DVD



学習活動や教材研究の参考としてお使いいただけるように、それぞれの学習ポイントをおさえた映像を学年ごとに収録しています。曲に合わせた遊び方や体を使った表現の例、鑑賞教材の演奏風景、オーケストラの楽器紹介ほか。

指導者用デジタル教科書（教材）

セット(1～6)に添付しています。教科書紙面を拡大提示し、全員が同じ紙面を見ながら授業を進めることができます。

- ・ビューアー機能例 …… 拡大、書き込みなど
- ・コンテンツ例 …… 楽譜再生、アニメーション、動画、シミュレーションなど

7 学習指導計画（全学年）



年間指導計画例、主要部分とオプション部分の組み合わせの例、題材の評価規準などを全学年分掲載しています。

KOBEYA通信

第3回
最終回

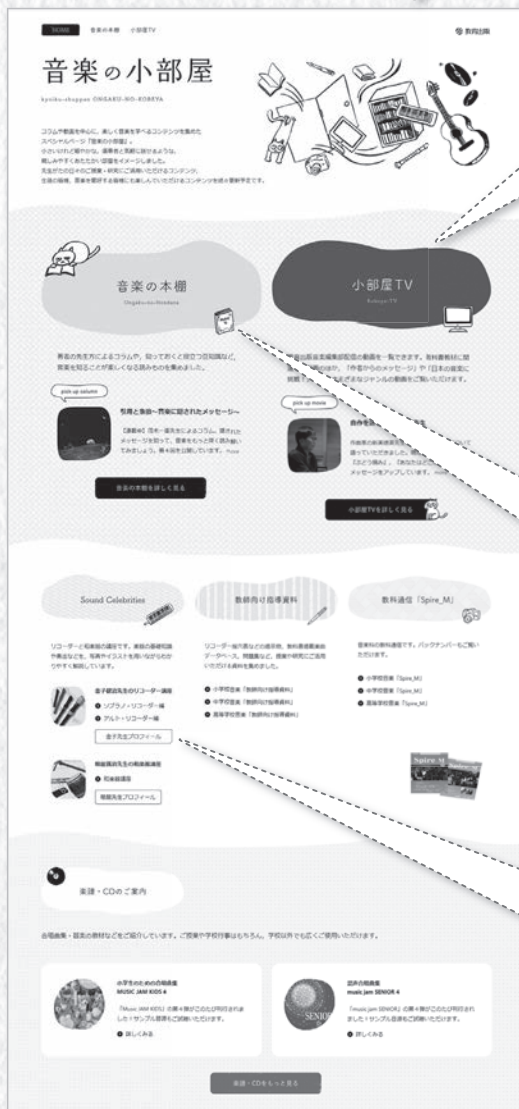
教育出版音楽科のweb 特設サイト「音楽の小部屋」を、もうご覧いただきましたでしょうか。コラムや動画を中心に、音楽を楽しく学べるコンテンツをご用意しています。下記の二次元バーコード、又は URL からぜひアクセスしてください。

こちらから
アクセスできます。

<https://www.kyoiku-shuppan.co.jp/docs/music/kobeya/index.html>



▼音楽の小部屋 TOP ページ

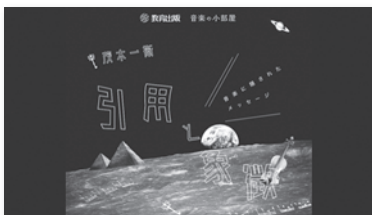


小部屋 TV…音楽づくりの活動例や、作家へのインタビューなど、オリジナルの動画を視聴できます。



▲授業お役立ち動画～音楽づくり～

音楽の本棚…ここでしかお読みいただけない、音楽にまつわる連載コラムをご覧ください。



▲引用と象徴～音楽に隠されたメッセージ～茂木一衛先生

金子健治先生のリコーダー講座…ソプラノ・リコーダー編とアルト・リコーダー編があります。全6回で、リコーダーを楽しみながら学習できます。



▲ソプラノ・リコーダー編 第1回～「シ」の音／タンギング

楽曲のダウンロード販売のお知らせ

教育出版の教科書や曲集に掲載した楽曲の楽譜や音源が、楽譜ダウンロード配信サイト「@ ELISE (アット・エリーゼ)」で購入できるようになりました！

特 徴

楽譜が1曲単位でダウンロードできます。サンプルをご覧ください。

指定のコンビニエンス・ストアで受け取れます。プリンターがなくてもOK。

参考音源(ピアノ伴奏, フル編成の演奏など)がダウンロードできます。試聴も可能です。

お支払いはクレジットカード, 各種電子マネー, 携帯キャリア決済などにご利用できます。
(コンビニエンス・ストアでお受け取りになる場合は現金支払も可能です)。

楽曲ラインナップ (抜粋)

曲名	曲態	作詞/作曲	幼: 幼児向け 小: 小学生向け 中: 中学生向け 高: 高校生向け
あいうえおのうた	独唱・斉唱	まど・みちお/三善晃	幼・小 (低学年)
あきのまほう	独唱・斉唱	真田良/西澤健治	幼・小 (低学年)
アルマジロ ～組曲『歌の動物園』より～	独唱・斉唱	水木ひろし/櫻井順	幼・小 (低学年)
いのちのリズム	独唱・斉唱	マイクスギヤマ/フジノタカフミ	幼・小 (低学年)
オハヨー九官鳥	独唱・斉唱	福尾野歩/中川ひろたか	幼・小 (低学年)
オランウータン ～組曲『歌の動物園』より～	独唱・斉唱	水木ひろし/櫻井順	幼・小 (低学年)
がぎくげごのうた	独唱・斉唱	まど・みちお/三善晃	幼・小 (低学年)
キセキ	独唱・斉唱	ダイヤモンド☆ユカイ	幼・小 (低学年)
きたかぜおんど	独唱・斉唱	木下久亞/西澤 健治	幼・小 (低学年)
きやきゅきよのうた	独唱・斉唱	まど・みちお/三善晃	幼・小 (低学年)
キリン ～組曲『歌の動物園』より～	独唱・斉唱	水木ひろし/桜井順	幼・小 (低学年)
げんきのはな	独唱・斉唱	タイト/西澤健治	幼・小 (低学年)
コアラ ～組曲『歌の動物園』より～	独唱・斉唱	水木ひろし/櫻井順	幼・小 (低学年)
ゴリラ ～組曲『歌の動物園』より～	独唱・斉唱	水木ひろし/櫻井順	幼・小 (低学年)
さあ、出かけよう	独唱・斉唱	真田良/赤尾暁	幼・小 (低学年)
サイ ～組曲『歌の動物園』より～	独唱・斉唱	水木ひろし/櫻井順	幼・小 (低学年)
サマーさまサンバ	独唱・斉唱	卯月しょう/野木雄大	幼・小 (低学年)
サラダパーティーはおおさわぎ	独唱・斉唱	タイト/飯田俊明	幼・小 (低学年)
ジェットコースター	独唱・斉唱	大畑みどり/大畑みどり	小 (低学年)
しまうま ～組曲『歌の動物園』より～	独唱・斉唱	水木ひろし/櫻井順	幼・小 (低学年)
じんせいはハッピーデイズ	独唱・斉唱	ダイヤモンド☆ユカイ	幼・小 (低学年)
すずめがちゅん	独唱・斉唱	佐甲慎/佐甲慎	小 (低学年)
ぞう ～組曲『歌の動物園』より～	独唱・斉唱	水木ひろし/桜井順	幼・小 (低学年)
だれかはきつとだれかのかぞく	独唱・斉唱	真田良/赤尾暁	幼・小 (低学年)
つばさ	独唱・斉唱	天童達/守洲 研人	幼・小 (低学年)
てくてくいこう	独唱・斉唱	川平慈英/川平慈英	幼・小 (低学年)

ニコニコー JUST FOR YOU -	独唱・斉唱	Teri Suzanne / 林有三	幼・小（低学年）
のはらのミステリー	独唱・斉唱	木下 久亞 / 丹波 凜	幼・小（低学年）
パット ピット ポン	独唱・斉唱	飯島利枝子 / 本間 勇輔	幼・小（低学年）
パンダ ～組曲『歌の動物園』より～	独唱・斉唱	水木ひろし / 櫻井順	幼・小（低学年）
へび ～組曲『歌の動物園』より～	独唱・斉唱	水木ひろし / 櫻井順	幼・小（低学年）
星めぐりの歌	独唱・斉唱	宮沢賢治	幼・小（低学年）
牧歌	独唱・斉唱	宮沢賢治	幼・小（低学年）
ボンボンポップコーン	独唱・斉唱	野木雄大	小（低学年）
まちのこえ	独唱・斉唱	マイクスギヤマ / フジノタカフミ	幼・小（低学年）
みどりのラララ	独唱・斉唱	水野光星	小（中・高学年）
ライオンのうた	独唱・斉唱	峯 陽	幼・小（低学年）
わくわくモーニング	独唱・斉唱	きたかみじゅん	小（低学年）
歩くうた	同声二部合唱	谷川俊太郎 / 新実徳英	小（中・高学年）
ガラスの水車	同声二部合唱	橘瑞穂（吉田寛） / 鳴戸諒（吉田寛）	小（中・高学年）
声のウォーミングアップ	同声二部合唱	きたかみじゅん	小（中・高学年）・中・高
卒業	混声三部合唱	筒井雅子	小（中・高学年）・中・高
そよ風の中で	同声二部合唱	うらん / 西澤健治	小（中・高学年）
旅のすきなあなたに	同声二部合唱	鈴木悦夫 / 川邊真	小（中・高学年）・中・高
地球は観覧車	同声二部合唱	城生美枝子 / 大橋美智子	小（中・高学年）・中・高
どきん	同声二部合唱	谷川俊太郎 / 新実徳英	小（中・高学年）・中・高
初めて歌を	同声二部合唱	楠木しげお / 新実徳英	小（中・高学年）・中・高
花のおくりもの	同声合唱（輪唱）	石島正博	小（中・高学年）
森のこやぎ	同声合唱（輪唱）	村田さち子 / 石島正博	小（中・高学年）
レッツ・テイク・ア・チャンス	同声二部合唱	西澤健治	小（中・高学年）
Let's Fly !	同声二部合唱	筒井雅子	小（中・高学年）
オーイ雲よ	ソプラノリコーダー二重奏	橋本龍雄	小
おどり	リコーダー二重奏	オーストリア民謡	小・中・高
風のデュエット	ソプラノリコーダー二重奏	吉原順	小
故郷の春	ソプラノリコーダー二重奏	ホン ナンパ	小
こきりこぶし	リコーダー二重奏	富山県民謡	小・中・高
世界の約束	ソプラノリコーダー二重奏	木村弓	小・中・高
西風のおどり	ソプラノリコーダー二重奏	大貫章	小
のぼら	リコーダー二重奏	ヴェルナー	小・中・高
まつりうた	ソプラノリコーダー二重奏	川井憲次	小
夜汽車	リコーダー二重奏	ドイツ民謡	小・中・高
カノン	器楽合奏	パッヘルベル	小・中・高
ス ワンダフル	器楽合奏	ガーシュイン	小・中・高
ブルリツリ	器楽合奏	新実徳英	小
ラ クンパルシータ	器楽合奏	M. ロドリゲス	小・中・高
ルパン三世のテーマ '78	器楽合奏	大野雄二	小・中・高

詳細はこちらをご覧ください

<https://www.kyoiku-shuppan.co.jp/tokushu/mps-ae/m-index.html>



<http://www.at-elise.com/>



小学生のための合唱曲集 MUSIC JAM KIDS シリーズ好評発売中!

※価格は全て税込み

MUSIC JAM KIDS 1



「U&I」 若松 歓 作詞・作曲・編曲
 「鳥になって」 瑞慶覧尚子 作詞・作曲
 「夢色マシーン」 うらん 作詞 富澤 裕 作曲
 「いのち」 小海永二 作詞 西澤健治 作曲 他
 B5判 全 18 曲 996 円 範唱 / カラオケ CD 3,143 円

MUSIC JAM KIDS 2



「崖の上のポニョ」 近藤勝也 作詞 宮崎 駿 補作詞
 久石 譲 作曲
 「来る来る春が来る」 坂田おさむ 作詞・作曲
 「ヒミツのこみち」 磯野 晃 作詞・作曲
 「笑顔でいよう」 池田綾子 作詞・作曲 他
 B5判 全 15 曲 838 円 範唱 / カラオケ / カラピアノ CD 2,619 円

MUSIC JAM KIDS 3



「夢みるムーン」 高頭 潔 作詞 赤尾 暁 作曲
 「ラティティ」 あだち ひろたか 作詞 坂元 優 作曲
 「ゆき」 草野心平 作詞 新実徳英 作曲
 「パワー オブ ドリーム」 中田留美 作詞 海原真也 作曲 他
 B5判 全 12 曲 880 円 範唱 / カラピアノ CD 2,640 円

MUSIC JAM KIDS 4



「トゥルー」 森 由里子 作詞 小林啓樹 作曲
 「冒険者」 金子麻友美 作詞 名田綾子 作曲
 「あしたのボクへ」 マイクスギヤマ 作詞 梅本由紀 作曲
 「僕らの日々」 池田綾子 作詞・作曲 他
 B5判 全 11 曲 935 円 範唱 / カラピアノ CD 2,750 円

<https://www.kyoiku-shuppan.co.jp/textbook/shou/ongaku/document/ducu5/index.html>





第18回

地球となかよし メッセージ

作品募集 (2020年度)

「地球となかよし」という言葉から感じたり、考えたりしたことを、
写真 (またはイラスト) にメッセージをつけて表現してください。

応募者全員に
参加賞が
もらえるよ!

応募資格	小学生・中学生 (数名のグループ単位での応募も可)
応募期間	2020年7月1日～9月30日 詳細は「優秀作品展示室」とあわせてホームページをご覧ください。
作品 テーマ	①身のまわりの自然が壊されている状況を見て感じたことや、自然環境 や生き物を守るための取り組み ②さまざまな人との出会いを通して、友好の輪を広げた体験、異文化交 流、国際理解に関すること ③その他、「地球となかよし」という言葉から感じたり、考えたりしたこと

◎主催／教育出版
◎後援／環境省、日本環境協会、日本環境教育学会、全国小中学校環境教育研究会、毎日新聞
社、毎日小学生新聞 ＊協賛・後援団体は昨年実績で、継続申請中です。

応募の決まりなど詳しくはホームページを見てね

<https://www.kyoiku-shuppan.co.jp/>



教育出版

「地球となかよし」事務局

前回
入選作品



旅するタネ

旅するタネは鳥にふわりと乗った。
下車したところは、道路。
名を「どこんじょうトマト」に変え、今年の暑い夏を
乗り切った。
その赤い実は熟し、よい香りが漂う。そして、私の口へ
コロリと入り、体中を旅する。
つながる命、つながる世界。トマトの力強い生命力で
私は元気になっていく。(小学4年)

小学音楽通信 **Spire.m**〔2020年 春号〕 2020年 3月31日 発行

編集：教育出版株式会社編集局 発行：教育出版株式会社 代表者：伊東千尋

印刷：大日本印刷株式会社

発行所：教育出版株式会社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10

03-3238-6864 (内容について)

URL <https://www.kyoiku-shuppan.co.jp>

03-3238-6901 (配送について)



なかよし宣言

わたしたちをとりまく自然や社会は、科学技術の進展や国際化、情報化、高齢化などによって、今、大きく変わろうとしています。このような社会の変化の中で、人間や地球上のあらゆる命がのびのびと生きていくためには、人や自然を大切にしながら、共に生きていこうとする優しく大きな心をもつことが求められています。

わたしたちは、この理念を「地球となかよし」というコンセプトワードに込め、社会のさまざまな場面で人間の成長に貢献していきます。

北海道支社	〒060-0003 札幌市中央区北三条西3-1-44 ヒューリック札幌ビル 6F TEL : 011-231-3445 FAX : 011-231-3509
函館営業所	〒040-0011 函館市本町6-7 函館第一ビルディング 3F TEL : 0138-51-0886 FAX : 0138-31-0198
東北支社	〒980-0014 仙台市青葉区本町1-14-18 ライオンズプラザ本町ビル 7F TEL : 022-227-0391 FAX : 022-227-0395
中部支社	〒460-0011 名古屋市中区大須4-10-40 カジウラテックスビル 5F TEL : 052-262-0821 FAX : 052-262-0825
関西支社	〒541-0056 大阪市中央区久太郎町1-6-27 ヨシカワビル 7F TEL : 06-6261-9221 FAX : 06-6261-9401
中国支社	〒730-0051 広島市中区大手町3-7-2 あいおいニッセイ同和損保広島大手町ビル 5F TEL : 082-249-6033 FAX : 082-249-6040
四国支社	〒790-0004 松山市大街道3-6-1 岡崎産業ビル 5F TEL : 089-943-7193 FAX : 089-943-7134
九州支社	〒812-0007 福岡市博多区東比恵2-11-30 クレセント東福岡 E室 TEL : 092-433-5100 FAX : 092-433-5140
沖縄営業所	〒901-0155 那覇市金城3-8-9 一粒ビル 3F TEL : 098-859-1411 FAX : 098-859-1411

本資料は、文部科学省による「教科書採択の公正確保について」に基づき、一般社団法人教科書協会が定めた「教科書発行者行動規範」の通り、配付を許可されているものです。